

北海道林業労働力確保促進基本計画検討懇談会（第3回）議事概要

1 日時及び場所

令和4年（2022年）1月25日（木）14:00～15:00
オンライン（Zoom）※道側：水産林務部1号会議室

2 構成員及び出席者名簿

・別紙のとおり

3 議事

○第6期北海道における林業労働力の確保の促進に関する基本計画（案）について

・提示（案）のとおり策定を進めることで了承。（（案）に対する意見無し。）

○その他

・働く方が気持ちよく、好きな山の仕事をしながら、それでいてきちんと休める環境を作るなど、業界一体となって取り組みを行っていききたい。

・SNSの活用については、色々なツールがあるが、使い方・見せ方一つでガラッと変わってくると思うので、大変注目して見ていきたい。

・担い手確保は林業だけでなく木材産業全体でも言えること。
苗木生産から製材工場まで、いわばサプライチェーンで結ばれており、どれか一つ欠けても影響があるので、地域全体で連帯して問題に取り組んでいくことが必要。

・林業事業体も労働力確保が喫緊の課題。
（人が）来てからの問題が大きく、リスクアセスメントについても、ただやるだけでも全くやらないよりも確実に事故が減るなど効果があるので、今後も続けていく必要がある。

・基本計画を立てたことをみなさんに理解していただくことが一番重要。
地域の林業事業体に理解してもらえるようにしていただきたい

・北森カレッジを中心とした人材確保が第一だが、高性能機械を使うのも全てにおいて人が重要。

・優先順位としては生産性よりも安全衛生が来るのでは。
人材確保、労働安全衛生の面において、林業は建設業と比べると雲泥の差がある。
リスクアセスメントにしても、一番重要なのは真の原因追求で、これが無いと解決できない。
今回策定する基本計画に基づいて一つ一つ具体策を進めていくことが必要。

・軽労化が書かれているが、もっとできると思っており、大型機械地拵えによる下刈り回数の低減や、植栽本数を減らすだけでもかなりの軽労化になるので、森林総研や道総研サイドからも研究を進めていただければと思っている。

・林業だけではなく地域全体が元気にならなければならず、住む場所、教育・医療なども含めた地域づくりについて、北海道が中心となると思うが、充実・対応をお願いしたい。

・北森カレッジの生徒が北森カレッジを受験することとなったきっかけを集計し、資料として示していただければ興味深い。

・北海道森林管理局としても、造林作業の省力化の実証等や、北森カレッジとの連携についても進めていきたい。

・課題は多いが、対策の積み重ねによって、これまでと比べて良くなってきたのは確か。
画期的にすぐに良くなることはなく、積み重ねていくことが重要だが、そのためには現状・課題を正確に把握することが重要なため、現場の皆様の意見を伺いながら進めていただければと思う。